

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2005-269200(P2005-269200A)

【公開日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2005-038

【出願番号】特願2004-78329(P2004-78329)

【国際特許分類】

H 04 N 1/46 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/46 Z

G 06 T 1/00 5 1 0

H 04 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月12日(2007.3.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力色値を、定義された色空間の色再現範囲内の色値に変換する第1変換手段と、前記第1変換手段により変換された、前記定義された色空間の色再現範囲内の色値を、第1デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第2変換手段と、

前記第2変換手段により変換された、前記第1デバイスの色再現範囲内の色値を、第2デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第3変換手段と、を有し、

前記第2変換手段は、前記定義された色空間における色値と、該定義された色空間における色値に基づき前記第1デバイスにより出力される色の測色値との第1対応関係に基づく変換を行い、

前記第3変換手段は、前記第2デバイスのデバイス色値と、該デバイス色値に基づき該第2デバイスにより出力される色の測色値との第2対応関係に基づく変換を行うことを特徴とする色処理装置。

【請求項2】

前記第1対応関係における測色値は、前記定義された色空間における色値に基づき前記第1デバイスにより色を出力させ、該出力された色を測色することにより得られることを特徴とする請求項1記載の色処理装置。

【請求項3】

前記第1対応関係は、前記第1デバイスのプロファイルから取得することを特徴とする請求項1記載の色処理装置。

【請求項4】

前記第3変換手段は、さらに、前記第2デバイスの色再現範囲内に変換された色値を、前記第2デバイスのデバイス色値に変換することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の色処理装置。

【請求項5】

前記第2変換手段は、前記第1対応関係における測色値に対して白色点黒色点補正を行

うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の色処理装置。

【請求項 6】

前記第 3 変換手段は、前記第 2 対応関係における測色値に対して白色点黒色点補正を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の色処理装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の色処理装置をコンピュータを用いて実現するために、記録媒体にコンピュータが読み取り可能に記録されたプログラム。

【請求項 8】

入力色値を、定義された色空間の色再現範囲内の色値に変換する第 1 変換工程と、前記第 1 変換工程において変換された、前記定義された色空間の色再現範囲内の色値を、第 1 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 2 変換工程と、

前記第 2 変換工程において変換された、前記第 1 デバイスの色再現範囲内の色値を、第 2 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 3 変換工程と、を有し、

前記第 2 変換工程は、前記定義された色空間における色値と、該定義された色空間における色値に基づき前記第 1 デバイスにより出力される色の測色値との第 1 対応関係に基づく変換を行い、

前記第 3 変換工程は、前記第 2 デバイスのデバイス色値と、該デバイス色値に基づき該第 2 デバイスにより出力される色の測色値との第 2 対応関係に基づく変換を行うことを特徴とする色処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】色処理装置、色処理方法およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、所望の色再現を実現した第 1 デバイスと同様な色再現を第 2 デバイスにおいても実現できるようにすることを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するために本発明に係る画像処理装置は以下のよう構成を備える。即ち、

入力色値を、定義された色空間の色再現範囲内の色値に変換する第 1 変換手段と、前記第 1 変換手段により変換された、前記定義された色空間の色再現範囲内の色値を、第 1 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 2 変換手段と、

前記第 2 変換手段により変換された、前記第 1 デバイスの色再現範囲内の色値を、第 2 デバイスの色再現範囲内の色値に変換する第 3 変換手段と、を有し、

前記第 2 変換手段は、前記定義された色空間における色値と、該定義された色空間における色値に基づき前記第 1 デバイスにより出力される色の測色値との第 1 対応関係に基づく変換を行い、

前記第 3 変換手段は、前記第 2 デバイスのデバイス色値と、該デバイス色値に基づき該

第2デバイスにより出力される色の測色値との第2対応関係に基づく変換を行うことを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は、定義された色空間で示される色に基づき前記第1のデバイスにより出力された色を測色することにより得られた定義された色空間で示される色値と測色値との対応関係を用いることにより、所望の色再現を実現した第1デバイスと同様な色再現を第2デバイスにおいても実現できるようにすることができる。